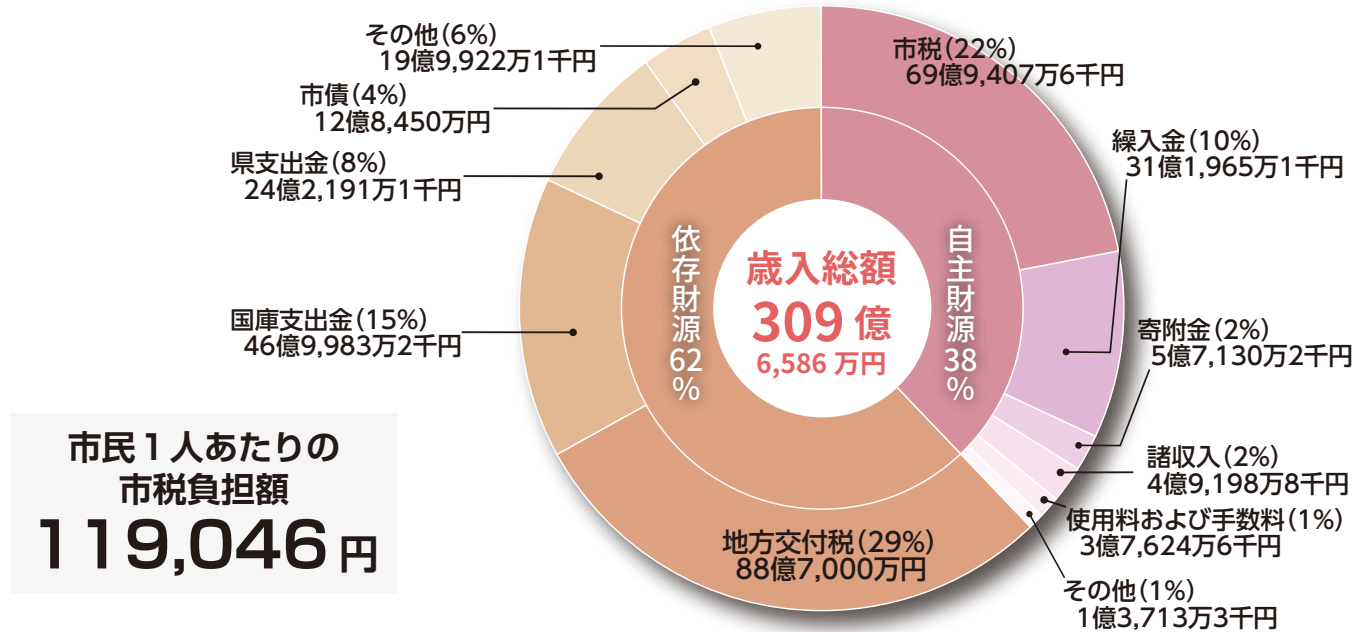
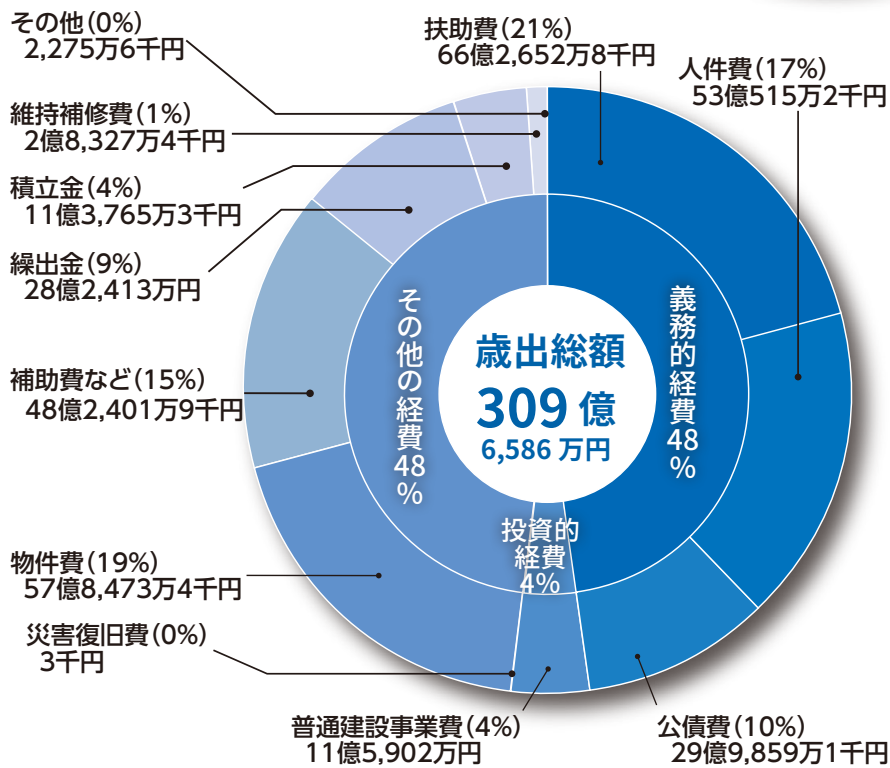


令和7年度一般会計予算額の内訳



市民1人あたりの
市税負担額
119,046円



市民1人あたりが
受ける行政サービス
527,069円

- 高齢者や児童の福祉 208,205円
- 戸籍・選挙・防災など 60,544円
- 道路・公園の整備 34,932円
- 商業や農林振興 31,505円
- 借入金の返済 51,039円
- ごみ処理や病気の予防 54,434円
- 学校・公民館や図書館 45,573円
- 消防・救急活動 36,497円
- その他（議会など） 4,340円

※予算額を令和7年1月31日の市の住民基本台帳登録人口数（58,751人）で除して算出しています。



用語解説

歳入

自主財源

依存財源

地方交付税

寄附金

市債

歳出

義務的経費

投資的経費

物件費

扶助費

公債費

市債

歳入

自主財源

依存財源

地方交付税

寄附金

市債

歳出

義務的経費

投資的経費

物件費

扶助費

公債費

市債

歳入

自主財源

依存財源

地方交付税

寄附金

市債

歳出

義務的経費

投資的経費

物件費

扶助費

公債費

市債

歳入

自主財源

依存財源

地方交付税

各会計の当初予算額

一般会計 **309億6,586万円**
(対前年度比 4.2%増)

特別会計 **158億1,608万1千円**
(対前年度比 0.7%減)

企業会計 **163億916万7千円**
(対前年度比 6.8%増)

全会計 **630億9,110万8千円**
(対前年度比 3.6%増)

市の1年間のお金の使い方をまとめた当初予算が決定しました。令和7年度の全会計の当初予算額は、前年度と比べて21億8,276万円（率にして3.6%）増の630億9,110万8千円となっています。このうち、一般会計は4.2%増の309億6,586万円、特別会計は0.7%減の158億1,608万1千円、企業会計は6.8%増の163億916万7千円となっています。

〔財政課〕

令和7年度 当初予算

予算の概要

歳出

物件費については、自治体情報システム標準化・共通化関連経費、第2期GIGAスクール事業費、教育ICT環境整備事業費などにより増額となりました。また、社会保障費（扶助費）については、児童手当の制度改正や乳幼児・子ども医療扶助費の所得制限撤廃などにより、補助費などについては、病院事業会計繰出金の増加などにより、いずれも増額となります。普通建設事業費については、紀見こども園や紀見地区公民館・郷土資料館の整備完了などにより減額となります。

歳入

市税については、昨年度に見込んでいた国の定額減税による影響がなくなることから、増額を見込み、地方交付税は、令和7年度収入見込額と国の地方財政の見通しなどに基づき算定し、前年度に比べ、ほぼ横ばいとなりました。繰入金については、財源不足を補うための財政調整基金などの増加により前年度比で増額となりました。市債については、紀見こども園や紀見地区公民館・郷土資料館の整備完了などにより、減額となります。

基金と市債残高

基金は、財政調整基金などを取り崩したことで減少しています。市債は、発行額が減少したことや元金償還が進むことにより、減少見込みです。今後、市債の発行を計画的に抑制し、残高の減少に努めます。

